私のショートヘアー

「髪を短くしたらどう？」小学生の時に母は私に言いました。私は返答しました。「まさかありえない。長い髪がいいに決まっている。」その当時、私は長い髪の毛に抵抗感がありました。なぜなら、私の周りの女の子の誰も長い髪の毛ではなかったからです。女の子は長い髪の毛だと、それが当然だと思っていたのです。

私を変えた出来事を話させてください。私はYoutubeを見るのが好きです。１２歳の時、面白い動画を見ました。それはアニメキャラのコスプレで踊る動画でした。動画の男性は鮮やかな青い服に金髪ショートヘアで、幸せそうに踊っていました。私はそのかっこよさに引きつけられ、その人の動画をよく見るようになりました。

ある日、私は初めてそのコスプレイヤーさんの声を聞きました。高く優しい声でした。その声を聞いた瞬間、私はその人が女だと気づきました。私はコスプレイヤーさんを男性と勘違いしていたのです。なぜなら彼女がかっこいい雰囲気を醸し出していたからです。コスプレの動画を見て、私がジェンダーステレオタイプにとらわれていると気づきました。つまり、かっこよさは男のみ、かわいさは女のみのものだと思い込んでいたのです。

コスプレ動画を見る前は、私は可愛くあろうとしていました。長い髪にスカート。それが私にとっての「女の子らしさ」で、みんながそうしていました。私は皆と同じであらなければならないと思っており、それが心地よかったのです。しかし、コスプレ動画はみんな性別に関係なく自分らしくあってよいと教えてくれました。私たちは異なる信念、興味、個性を持っているのだから、みんな互いの違いを理解するべきです。

私は自分がジェンダーステレオタイプをもっていると気づけてラッキーでした。今、私は全身全霊で自分のスタイルを楽しんでいます。私の髪の毛を見てください。短く切りました。ズボンもはくようになりました。女の子がかっこよくあることの何が悪い？今はそう思えるようになりました。自分らしくあることを恐れないで、自分に正直にあってください。そして私たちの個性を祝いましょう。

ある日母は私に言いました。「前みたいに髪の毛を長くしたら？」私は自信をもって返答しました。「ばかにしないで。私は短い髪が好きなの。これが私よ！」